



来店型フードバンク くろーばーマーケット

特定非営利活動法人さくらんぼ
共生事業部

法人概要

1997年から横浜市瀬谷区で活動

ミッション「参加障害のない街づくり」

事業内容

認可保育園、小規模保育事業、横浜市乳幼児一時預かり事業
放課後児童健全育成事業（学童保育）
地域子育て支援拠点、児童家庭支援センター
ヘルパー派遣事業、**居住支援事業、フードバンク事業**

共生事業部

フードバンク事業をおこなう 共生事業部とは・・・

あらたな地域課題に取り組むために2021年に立ち上げ

- ・ 親を頼れない女子学生のための「下宿やWith」 (2017年度～)
- ・ 短期居住支援事業「JIKKA」 (2021年度～)
- ・ 社会的養護出身の若者のためのアウトリーチ型食支援
「JIKKA便」 (2021年度～)
- ・ 来店型フードバンク「くろーばーマーケット」 (2021年度～)

来店型フードバンク 「くろーばーマーケット」の概要

所在地：横浜市瀬谷区三ツ境100-6、三ツ境駅から徒歩5分

開所日時：火曜日11:00～17:00

金曜日12:30～18:30 祝日休み（※2023年4月時点）

対象者：食の支援が必要な方。

くろーばーマーケットまでご本人、
もしくは代理人が取りに来られる方。

★2023年7月の現在の会員登録者数145名、約30～40名/日来店



「くろーばーマーケット」の特徴

▶食の支援が必要な方であれば誰でも利用できる

利用者は社会福祉協議会やケアプラザ、行政、支援団体などの紹介で来ている方が多い。

個人でネット検索等して問い合わせをしてくる方もいる。

▶食品が必要になったタイミングで、必要なものを持ち帰れる

提供頂いている品のためいつも同じものがあるわけではないが、開所中は好きな時に必要なものを選んで持ち帰ることができる。

▶地域の見守りとしての機能

くろーばーマーケットには基本的にはスタッフが駐在している。世間話やちょっとした相談も出来る。

食品提供の流れの一例 ※団体敬称略

①フードバンク拠点



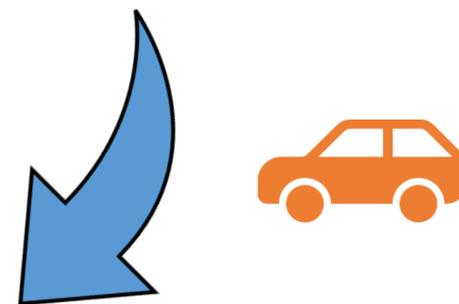
フードバンクかながわ



②中継拠点



ユーコープ瀬谷センター



③くろーばーマーケット



セカンドハーベストジャパン

その他にも食品提供団体として
WEショップジャパン
近隣の農園・果樹園
スーパーマーケットのフードドライブ
その他近隣団体、個人の方など・・・



たくさんの食品を運びます



季節によっては野菜も！



食品以外の提供品も。これは文具



山崎製パンさんからの提供



法人内フードドライブで集めた食品

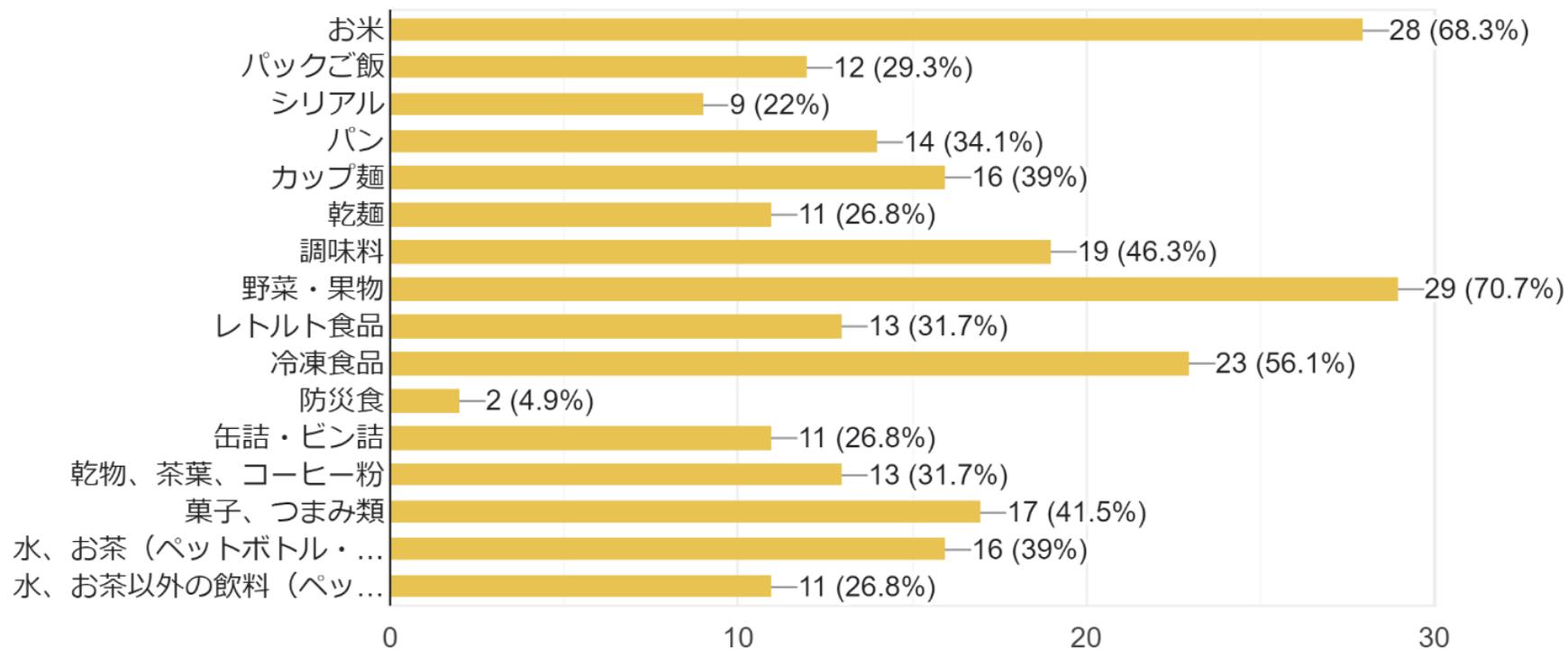


冷凍食品もまれに入荷します

利用者に需要の多い食糧品

※くろーばーマーケット2022年度利用者アンケートより

①野菜・果物 ②お米 ③冷凍食品 ④調味料 ⑤菓子類



食糧品以外で需要のあるもの

生理用品

文具

ペーパー類、洗剤類など日用消耗品

衣料品【注意！】

！衣料品は募集をかけると比較的たくさん集まるが、
余ったときの保管場所がない。状態を保ち保管するのが困難。

！雛飾りや五月飾り、ランドセルなどのイベント物は
「自分で選びたい」という方も多い。

利用者さんの声① ※抜粋

- ・（こどもが）たくさん食べるのですごく助かってます。普段買えないものが、頂けて無事に食べさせていけてます。今までは我慢させていてご飯も1～2食だったりしたのですがこちらを利用させてもらってから食べれるようになり助けてもらっています。
- ・自分で買うときはどうしても価格優先になるので、似たようなものだったり、種類が限られてたりしてくるので、くろーばーで気になっていたものや、珍しいもの、値段が気になって手が出せない様なものに出会えるとうれしい。

利用者さんの声②

- ・物価が高騰する中、就労日数が少なく収入が限られているので、とても助かります。
- ・ひとり親となり、食べざかりの子ども達と暮らしていくのに食事の問題は大きなものでした。食事の貧困は心の貧困につながるのではないかということを感じました。利用させていただくようになって食卓も華やかになり、子ども達もお腹いっぱい食べられるようになり、本当に感謝しかありません。自然と笑顔も増えて初めて食べるものも楽しみながらみんな仲良く食べたりしています。

私たちが地域でできることはなにか

- ① 地域でのフードドライブ活動を活発化させる
- ② 食糧品の配布にあたる人材、拠点を増やす
- ③ ネットワークづくり